

活動・資格等の実績に関する資料（文学部特別推薦用）

以下のものを志願者自身が作成の上、提出してください。

1) 活動・資格等実績一覧表

基礎要件に該当する活動・資格等の実績の全てを一覧表にしたものをA4版で作成してください。一覧表には、下にある表の項目を書いてください。なお、その実績には、優れている順に「①、②、③・・・」と評価順位を付けて、その順番に記入してください。その際、優先順位は、「全国」レベル、「地方ブロック」レベル、「都道府県」レベルの順にしてください。基礎要件が複数の活動・資格等に及ぶ場合は、各々に一覧表を作成してください。

2) 活動・資格等の実績を証明する資料

活動・資格等の実績を客観的に示す資料として以下のものを添付してください。（特に書式は定めません。ただし、DVDなど、紙以外の資料の提出はご遠慮ください。）

（ア）競技や創作などの活動の場合 ⇒ 大会プログラムや公式報告書、新聞記事など

（イ）社会活動、ボランティアなどの場合 ⇒ 公的報告書、所属した団体・機関による推薦書など

（ウ）資格の場合 ⇒ 認定証やスコアカードのコピー

志願者名が記載された資料など、志願者が該当の大会や活動に参加したことが分かる資料が必要です。また、必要に応じて、実績の内容が専門外の者にも分かるような資料や、各自で作成した資料も添付してください。

各資料には、活動・資格等実績一覧表のどの実績に対応するのかが分かるように、評価順位番号を記入してください。一つの実績に対応する資料が複数に及ぶ場合は「①(評価順位番号)－1、①－2・・・」などと記入し、ホッチキス等で綴じてください。綴じることが難しい場合は、ファイルなどに入れてください。

活動・資格等実績一覧表に実績ごとに記入すべき項目とその内容（例）

項 目	記 入 す べ き 内 容		
	(ア)競技や創作などの活動の場合	(イ)社会活動、ボランティアなどの活動の場合	(ウ)資格の場合
(1)評価順位	①、②、③・・・	①、②、③・・・	①、②、③・・・
(2)学年	開催時の学年	活動時の学年	取得時の学年
(3)年月	開催時期	活動期間	取得時期
(4)種目名等	競技などの種目名、大会名、大会主催者名、開催地	活動内容（頻度、場所、対象者など）	資格の名称など
(5)団体・個人の別	団体の場合、ポジションやパート及び役割や貢献度も記入		
(6)成績	順位や賞	表彰の名称や評価内容など	得点や級など
(7)大会規模と実施団体	「全国」レベル、「地方ブロック」レベル、「都道府県」レベルのいずれかを記入	表彰や活動の主催団体	資格を与える団体などの名称
(8)参加者数・参加校・応募数など	競技参加人数・応募者数や参加校・応募校の数など	活動の参加者数など	受験者数や合格率など
(9)賞のレベルや性格	コンテストやコンクール、展示会などの受賞の場合、受賞した人数、学校数(例えば、「銀賞」受賞の時には、その上位の賞の受賞者(校)数についても記入)	表彰などの場合、表彰の理由、表彰者の数、他の表彰との位置づけ	同種の資格の中でのランク（他の同種の資格との比較）
(10)その他特記事項	活動の内容に応じて特筆すべきことがあれば記入		

(作成例)

活動・資格等実績一覧表

志願者氏名 北九 太郎
 高等学校名 ▲▲ 高等学校
 志望学部・学科 文学部 人間関係学科

(1) 評価順位	①	②	③
(2) 学年	1年	2年	2年
(3) 年月	●年●月●日	○年○月○日	△年△月△日
(4) 種目名等	第●回全国吹奏楽 コンクール	第○回全日本高等学 校選抜吹奏楽大会	TOEIC (第△回)
(5) 団体・個人の別	団体参加 アルトサックス担当	団体参加 アルトサックス担当	
(6) 成績	銀賞	優秀賞	630点
(7) 大会規模と実施 団体	全国レベル 全日本吹奏楽連盟	全国レベル 日本高等学校吹奏楽 連盟	(財) 国際ビジネスコ ミュニケーション協 会TOEIC運営委員会
(8) 参加者数・参加 校・応募数など	全国から選抜された 29校	全国から選抜された 17校	年間450万人が受験 (60カ国で実施)
(9) 賞のレベル等	出場29校中金賞11校・ 銀賞11校・銅賞7校	出場17校中グランプ リ1校・ゴールデン 賞4校・優秀賞12校	(他資格との比較) 英検2級から準1級 程度
(10) その他特記事項	現在も吹奏楽部活動継続中です。		第×回も受験 (成績未受理)

* 上記はあくまで作成例です。

* 「活動・資格等の実績を証明する資料」を必ず添付してください。(団体での出場の場合、志願者本人が参加したことを証明できる書類も必要です。)